



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 株式会社三社電機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6882 URL http://www.sansha.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 元
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部長 (氏名) 丸山 博之 TEL 06-6321-0321
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,656	△7.7	205	△85.6	184	△86.8	172	△83.5
2019年3月期第3四半期	18,049	2.2	1,424	32.4	1,393	26.2	1,044	28.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5百万円 (△99.5%) 2019年3月期第3四半期 990百万円 (6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	12.20	—
2019年3月期第3四半期	72.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	25,849	19,613	75.9	1,386.79
2019年3月期	28,532	19,952	69.9	1,410.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,613百万円 2019年3月期 19,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	8.00	—		
2020年3月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は定款において3月31日又は9月30日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	△6.4	200	△89.1	165	△90.9	120	△91.0	8.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）－、除外一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	14,950,000株	2019年3月期	14,950,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	807,122株	2019年3月期	807,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	14,142,878株	2019年3月期3Q	14,387,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な予想数値と異なる場合があります。

(2) 2020年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定のため開示しておりません。配当予想を決定しましたら速やかに開示します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、昨年度より続いている米中貿易の緊張状態の継続、中国の経済成長率は過去最低の更新など世界経済の先行きへの不透明感が続いており、予断を許さない状況が続いております。当社の事業に影響する製造業の設備投資は、工作機械の受注減少が続くなど、設備投資の動きは減少傾向が顕在化してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは半導体事業においてS i Cパワーモジュールの量産体制が整ったことにより、本格的な営業活動を開始いたしました。また、これまで半導体の取引がなかったインド市場への参入、さらに、電源機器事業におきましても、顧客のご要望に即した製品の開発などを行いました。足元の受注環境は非常に厳しい状態が続いております。

これらの結果、当社の第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は166億5千6百万円(前年同期比7.7%減少)、営業利益は2億5百万円(前年同期比85.6%減少)、経常利益は1億8千4百万円(前年同期比86.8%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千2百万円(前年同期比83.5%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(a) 半導体事業

当事業におきましては、売上高に占める割合の高いF A機器向けモジュールや産業用各種インバータ分野において、国内外ともに取引先の在庫調整局面が予想以上に続いたことにより、受注は大幅に落ち込みました。また、S i Cパワーモジュールは採用評価段階中の顧客が多く、業績への本格的な寄与には今しばらく時間を要す状況です。この結果、売上高は44億7千5百万円(前年同期比15.1%減少)、セグメント利益は、減収に加え製品構成の変化による収益性の悪化から、2億1千5百万円の損失(前年同四半期は4億8千万円の利益)となりました。

(b) 電源機器事業

当事業におきましては、上期は銅箔生成用電源や電解コンデンサ用アルミ箔エッチング用電源の出荷、インバータの分野では営業活動の成果も現れ、無停電電源装置や蓄電池を搭載したインバータなどが国内向けに堅調に推移し、事業全体では増収を確保したものの、他の製品群は期初から受注が厳しい状況で推移いたしました。特に、当社の主力製品である金属表面処理用電源は中国を中心とした海外での設備投資抑制の影響を受け、下期に入りその傾向は顕著となり、大幅な減収となりました。この結果、売上高は121億8千1百万円(前年同期比4.7%減少)となりました。セグメント利益は減収に加え、採算の厳しい大型案件が多かったこと、収益性の高い金属表面処理用電源の販売が伸び悩んだことなど、製品構成の変化の影響が大きく、4億2千1百万円(前年同期比55.3%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ26億8千2百万円減少し、258億4千9百万円となりました。これは主に商品及び製品が1億4千6百万円増加したものの、現金及び預金が15億2千8百万円、電子記録債権が4億3千1百万円、仕掛品が6億6千1百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億4千3百万円減少し、62億3千6百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が15億1千1百万円、未払費用が1億7千6百万円、賞与引当金が3億7千2百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億3千9百万円減少し、196億1千3百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億7千1百万円、為替換算調整勘定が1億4百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想の数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,963	4,434
受取手形及び売掛金	6,383	6,478
電子記録債権	1,636	1,204
商品及び製品	3,308	3,455
仕掛品	1,468	806
原材料及び貯蔵品	1,792	1,638
その他	358	362
貸倒引当金	△43	△28
流動資産合計	20,866	18,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,484	2,284
機械装置及び運搬具(純額)	834	719
土地	2,128	2,128
リース資産(純額)	193	271
建設仮勘定	19	88
その他(純額)	328	328
有形固定資産合計	5,987	5,820
無形固定資産		
のれん	162	115
その他	242	202
無形固定資産合計	405	318
投資その他の資産		
投資有価証券	142	53
破産更生債権等	—	84
繰延税金資産	752	899
退職給付に係る資産	247	269
その他	130	137
貸倒引当金	—	△84
投資その他の資産合計	1,272	1,359
固定資産合計	7,665	7,498
資産合計	28,532	25,849

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,428	2,917
電子記録債務	257	210
短期借入金	100	—
未払金	919	851
未払費用	837	660
未払法人税等	195	110
賞与引当金	617	244
製品保証引当金	84	66
受注損失引当金	14	9
その他	524	557
流動負債合計	7,977	5,628
固定負債		
リース債務	120	122
未払役員退職慰労金	388	388
退職給付に係る負債	43	48
その他	49	49
固定負債合計	601	607
負債合計	8,579	6,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	2,698	2,698
利益剰余金	15,000	14,828
自己株式	△849	△849
株主資本合計	19,623	19,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	9
為替換算調整勘定	185	81
退職給付に係る調整累計額	92	70
その他の包括利益累計額合計	328	161
純資産合計	19,952	19,613
負債純資産合計	28,532	25,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	18,049	16,656
売上原価	13,218	13,178
売上総利益	4,830	3,478
販売費及び一般管理費	3,406	3,272
営業利益	1,424	205
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	5	5
受取賃貸料	12	10
その他	24	19
営業外収益合計	51	44
営業外費用		
支払利息	3	5
支払手数料	8	4
デリバティブ評価損	7	—
為替差損	51	51
その他	10	4
営業外費用合計	81	66
経常利益	1,393	184
特別利益		
投資有価証券売却益	—	82
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	8	—
特別利益合計	8	82
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	1,395	266
法人税、住民税及び事業税	257	211
法人税等調整額	93	△117
法人税等合計	351	93
四半期純利益	1,044	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,044	172

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,044	172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△41
為替換算調整勘定	△51	△104
退職給付に係る調整額	11	△21
その他の包括利益合計	△54	△167
四半期包括利益	990	5
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	990	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である、三社電機(上海)有限公司、三社電機(広東)有限公司、東莞伊斯丹電子有限公司は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、より適切な経営情報の把握を行うため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,268	12,780	18,049	—	18,049
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,268	12,780	18,049	—	18,049
セグメント利益	480	943	1,424	—	1,424

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	半導体事業	電源機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,475	12,181	16,656	—	16,656
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,475	12,181	16,656	—	16,656
セグメント利益又は損失 (△)	△215	421	205	—	205

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。